

13

株式会社ナルス

企業概要

所在地:上越市藤巻6番50号 電話:025-525-4121

事業内容:スーパーマーケットの経営

従業員数:1,398名うち雇用障害者数23名

URL:http://www.hnhd.co.jp/



地域生活に密着した
スーパーマーケットだからこそ
取り組むべきと考えています

DATA BOX

現在の障害者雇用の状況

身体障害者4名 知的障害者8名
精神障害者11名

主な担当業務

品出し 総菜加工 パック詰め 清掃 等

雇用の経緯

当社が運営するスーパーマーケットは、地域生活と密接に関わっています。平成10年にハローワークから障害者雇用についてお話をいただいた際に、その地域で生活する障害者が従業員として働いていることは当然であると考え、障害者の雇用に取り組み始めました。

現在は、アクシアルリテイリンググループとして障害者雇用を進めており、そのうち当社では23人の障害者が11店舗で働いています。

採用までのプロセス(一例)

- ① 合同就職面接会
- ② 店舗面接
- ③ トライアル雇用
- ④ 正式採用

point

1

採用基準は「就労の準備」ができているかどうか

当社が障害者を採用するに当たり重視することは、「就労の準備」ができているかどうかということです。「就労の準備」とは、働く意欲があることと、あいさつをする、清潔である等といった社会人としての基本ができていることです。

最初は他の従業員から業務を教わることから始まりますが、教える従業員も人間です。意欲が感じられない、あいさつをしても返事がないというようなことが続けば、次第にコミュニケーションは少なくなり、業務にも支障が生じてしまうおそれがあります。

業務の幅を広げたり、効率性を高めることは、工夫をしたり続けていく中で、できるようになることもあります。しかし、「就労の準備」ができている方は、職場でも好感が持たれることが多く、働く姿勢の基本軸があるため定着率は高くなる傾向にあると感じています。



商品に値引きシールを貼る作業

障害の特性で必要な支援は変わる

障害の特性に応じて必要となる支援はそれぞれ異なります。身体障害者への支援では、例えば、聴覚に障害がある従業員に対しては筆談によるコミュニケーションをとる、視覚に障害がある従業員に対しては作業スペースに移動の妨げとなるような物を置かないといった、主にハード面での支援が必要となることが多いと思います。

一方、知的障害者や精神障害者への支援については、ソフト面での対応が必要となることが多いです。業務上の問題は店舗責任者が対応しますが、仕事で分からないことや悩み等を気軽に相談できるような人物(当社では「キーマン」と呼んでいます)がいることが障害者の心理的支えになることがあります。「キーマン」は、初めから担当を決めず、業務をする中で自然に面倒見の良い人、よく会話をする人が出てくるので、その人にフォローをお願いしたり障害者にも何かあれば相談するように伝えることがあります。現場で生まれるナチュラルなサポートを上手く活用することも継続した支援には重要です。



研修制度や支援機関を活用してください

事務部総務主任(企業在籍型ジョブコーチ) 細谷さん

当社には、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施する「職場適応援助者養成研修」を受講した「企業在籍型ジョブコーチ」が2名おり、何か問題が生じるとジョブコーチが職場へ伺い、店舗責任者等にヒアリングし、課題解決のためのアドバイスを行っています。

ただし、企業側で従業員の生活状況をすべて把握・フォローすることは不可能ですし、障害者のご家族の協力が必要なときもあります。そのような場合は、障害者就業・生活支援センター(P.35参照)に相談し、連携した対応をとっています。研修制度を活用した知識や技術の習得と併せて、企業側ですべて対応するのではなく、適時に適切な支援機関と連携することが大切です。



こんな課題どうしていますか?

任せる仕事がない。あっても新たに雇用するまでの量にならない。

A 最初から1人分の仕事を準備できなくても、仕事の幅が次第に広がることで徐々に1人分になってきます。

支援機関

『会社の不安を少しでも軽減できるよう連携します』

障害者就業・生活支援センター さくら
(P.35参照)

ナルス様は、障害者就業・生活支援センターが上越に配置される以前から、積極的に障害者雇用をすすめ、多数雇用してきた実績のある会社です。

しかし、自ら退職を希望する人や職場に馴染めない人等、様々な課題を持った人たちがいます。その都度、センターでは必要な機関と連携して課題解決に取り組み、生活面の課題についても家族や地域の相談機関、医療機関等と連携を図っています。残念ながら退職した人もいましたが、課題を克服して働いている人も大勢います。

ナルス様が、障害者が働きやすい職場づくりの取組を継続されている中で、これからも連携していきたいと考えます。